



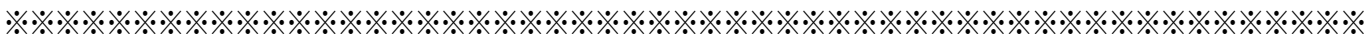
上向台小だより

12月号

西東京市立上向台小学校

令和5年12月1日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>



「全国学力・学習状況調査」を踏まえた指導の改善・充実に向けて

副校長 河又 学

今年の4月18日に、「全国学力・学習状況調査」が行われました。「全国学力・学習状況調査」とは、文部科学省が日本全国の小中学校の最高学年を対象として行う調査です。平成19年（2007年）から実施され、学力を問う出題だけではなく、児童の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われます。この調査結果は、教員の学習指導の改善や学力向上のための取組の成果の確認に活用します。児童質問紙の項目において、東京都と本校とを比較した結果、特に差が大きかった項目が以下の内容です。

「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が、本校は東京都より 6.0ポイント 高く、また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しても、3.0ポイント 高い結果でした。さらに、「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対しても、8.5ポイント も高い結果でした。

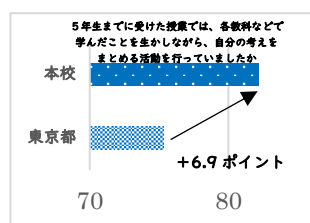
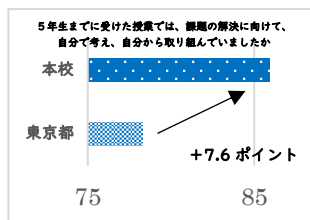
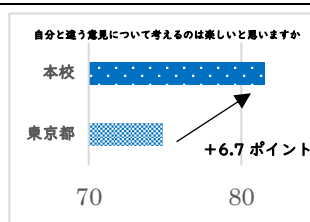
これらの結果から、本校の児童は、自己有用感が高く、自分を大切にしたり、相手に対する思いやりの気持ちが育ったりしていることが分かります。

この結果は、御家庭などで良い言動を褒め、励まし、自己肯定感を高めていただいていることに起因していると感じています。そのような関わり方をさせていただいていることで、子どもたちは自分に自信をもち、自分の考えを積極的に伝え、他者とコミュニケーションを図り、他人のことも肯定し、認められるという現在の姿につながっているのだと思います。本校では、「西東京市あったか先生」のスローガンの下、教員は良い行動はしっかり認めたり、話を丁寧に聞き、受け止めたりすることを常日頃から心掛けています。これらのことも、今回の結果につながっていると感じています。

また、主に学習についての項目結果で特に東京都と本校の差が大きかった項目は、以下の内容です。

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

という質問に対して、肯定的な回答をした児童は、本校は東京都より 6.7ポイント も高く、また、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に対しても、7.6ポイント も高い結果でした。さらに、「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」という質問に対しても、6.9ポイント も高い結果でした。



これらの結果から、本校の児童は主体的に学びに向かう力が育ちつつあることや、教科等横断的な視点をもちながら学んでいることが分かります。

本校では今年度、「学びのコントローラーを子どもがもつ授業へ」の転換を図るべく、児童が自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指して学習を進めています。今後、さらに予測困難な時代においても、「よい変化を起こそうと、自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力」を育成できるようにしていきたいと考えています。具体的な取り組みについては、右のQRコードから、学校HPを御覧いただければと思います。本校が目指す「令和の日本型学校教育」をぜひ御覧いただき、共にかからの指導の改善・充実について考えていければと思います。



校長室から見える上小の教育活動（令和5年度）